（大正十年十二月二十日第三種郵便物認可）　昭和十四年九月十九日　夕刊　第五千六百二十七號

新秋隨想

散歩（一）

五十嵐雄之

重厚な性格の中に穏逸な散歩癖を回想することも樂しい夢の一つである。

毎月一足づゝ出入の下駄屋から納める質素な駒下駄を履かれて、朝早く三田界隈を散歩たられた福澤先生の話は手に取るやうに聞てゐる筈

「どうぞ、お上り下さいまし、まことにむさくるしい所でございますが……」

「左樣か、然らば御免——」

平藏の居間に通つた島田伴十郎役人らしく威儀をたゞし。

「本日は表立つて參つたのではなく姓名の儀は兩三日名乘るをお話して下されいづれ本性をお聞かせ申すは、あのお屋敷のお役人さ時機もござらう……」

「一應會うてまゐる度い、取次を賴む……」

「はい、暫時お待ち下さいませ……」

おたかは次の間へ下つゝも取次を致すも何もない、唯二部屋の狹い家、玄關の話は手に取るやうに聞てゐる筈

「どうぞ、お上り下さいまし、まことにむさくるしい所でございますが……」

「左樣か、然らば御免——」

それもその筈……。

今晩　北西の風後晴

明日　北から南の風晴たも曇り

天氣豫報　小石川測候所觀測

九月十八日發行

定價一ケ月金五拾錢（會費共）　廣告料金九拾錢

東京朝日新聞社會部長　日置昌一

東京市麹町區有樂町一ノ六五五八番

日曜祭日發行

日本姓名學會東北支部長

鵜沼孝昌

平市紺屋町　三六

体力（肉体（健康、不健康、相貌）疾病（病根病勢、病名）に關する一切）

活動（職業（適業、不適業）天運（天運、成功、不成功）に關する一切）

血緣（家族運（父母の緣、夫婦の緣、子供の緣）有無（氣質、相性、相剋、婚期方位に關する一切）

（男女緣）

（看護婦至急募集）

高久病院

平市田町（電話五三一番）

醫學士　高久忠

新潟醫學士　赤羽清

藥劑士　佐竹勉

內科小兒科

外科花柳病科

耳鼻咽喉科

吸入用酸素

純度99%

度量衡

モノサシ　マス　ハカリ

計量器

体温器　寒暖計

秤ノ取締　垂糸・修繕致シマス。

關内藥局

電話四〇番

病室・手術室完備

産婦人科

醫學博士　五十嵐雄二

（物理療法科併置）　（入院隨時）

平市新川町（電話三六九番）

目項定鑑

命運の代一てみの前名……るかわもてん何

銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名

時計メガネ補聽器

新古時計高價買入

産婦人科

井坂醫院

平市田町　電五五九

これは便利！

△手を荒さず

△絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず

△つけておくだけで洗へる

美マルミ粉末石鹸

製造元　平市材木町一一

外科、内臓外科、エツキス光線科、産婦人科

院長　安齊徹

醫學士　小松千秋

平市田町

入院隨意

安齊醫院

電話四七五番

石ミシン店

世界代表　シンガーミシン

日本代表　アサヒミシン　ニツポンミシン

コントロール

◎月賦販賣　◎無料教授

平驛前大通り（シンガー）

ミシン

石綿ムシカマド

こんな經濟的なかまどは他にありません

安價な燃料で濟み、保温力が强く堅牢で火の元絕對安全！、御使用に御便利な！石綿製のムシカマド、近代生活のお台所に是非、たすゝめ致したい新製品で御座います。

平市五丁目

和洋銅物金物問屋　釜屋商店

實用新案第一八七三〇號　意匠登錄第六六一六七號　五面式

盡無城磐

「貯蓄は無盡で」

三作園

一步一步堂の山

社交が成功のもうけうち

無盡切まじり合のうち

盡無城磐

國民精神總動員……

日本國民・必見の書……

內閣情報部發行

寫眞週報

（1部10セン）

……お取次致して居ります……

（平2）　西村藥局　（電3）

磐城の御みやげ品

名物　靈峰羊かん（名産柿煉）

姉妹品

磐城耶馬溪……美山羊羹

同　七濱……のり羊羹

同　豐間……辨天羊羹

◎各種一本十錢

小川郷驛前

製造發賣元　平屋賣店

お醬油は……ヤマフル

塩屋

味噌醬油たひら正宗　鰹節食品料

山崎合名會社

福島縣平市

電話（營業部一〇番　本店二七番）

明治生命磐城代理店　山崎與三郎

御婚禮御着附

パーマネント　ウエーブ

洋和結髪　オゾン美顔術

御婚禮のかつらを御利用下さい

御染髪洗毛

美爪術電話

六七八營業所　五二五自宅

平市驛前

水野化粧院

昭和十四年九月十九日

散歩

五十嵐雄之

重厚な性格の中に穏逸な散歩癖を回想することも樂しい夢の一つである。

毎月一足づゝ出入の下駄屋から納める質素な駒下駄を履かれて、朝早く三田界隈を散歩たられた福澤先生の話は手に取るやうに聞てゐる筈

「どうぞ、お上り下さいまし、まことにむさくるしい所でございますが……」

「左樣か、然らば御免——」

平藏の居間に通つた島田伴十郎役人らしく威儀をたゞし。

「本日は表立つて參つたのではなく姓名の儀は兩三日名乘るをお話して下されいづれ本性をお聞かせ申すは、あのお屋敷のお役人さ時機もござらう……」

それもその筈……。

今晩　北西の風後晴

明日　北から南の風晴たも曇り

天氣豫報　小石川測候所觀測

夕刊

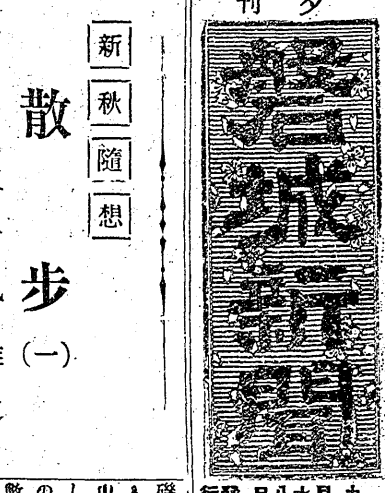
九月十八日發行

定價一ケ月金五拾錢（會費共）　廣告料金九拾錢

東京朝日新聞社會部長　日置昌一

東京市麹町區有樂町一ノ六五五八番

日曜祭日發行



新秋隨想

散歩（一）

五十嵐雄之

重厚な性格の中に穏逸な散歩癖を回想することも樂しい夢の一つである。

毎月一足づゝ出入の下駄屋から納める質素な駒下駄を履かれて、朝早く三田界隈を散歩たられた福澤先生の話は手に取るやうに聞てゐる筈

「どうぞ、お上り下さいまし、まことにむさくるしい所でございますが……」

「左樣か、然らば御免——」

平藏の居間に通つた島田伴十郎役人らしく威儀をたゞし。

「本日は表立つて參つたのではなく姓名の儀は兩三日名乘るをお話して下されいづれ本性をお聞かせ申すは、あのお屋敷のお役人さ時機もござらう……」

「一應會うてまゐる度い、取次を賴む……」

「はい、暫時お待ち下さいませ……」

おたかは次の間へ下つゝも取次を致すも何もない、唯二部屋の狹い家、玄關の話は手に取るやうに聞てゐる筈

「どうぞ、お上り下さいまし、まことにむさくるしい所でございますが……」

「左樣か、然らば御免——」

それもその筈……。

第五千六百二十七號　昭和十四年九月十九日　夕刊

過棚倉

琢雲　小鍛冶亭

奇巖絕壁架橋長
明麗山河開此疆
新樹濃葱四圍綠
棚倉直個陽塵鄉

秋・銃後

湯村五郎

○軍色の條雲一つみんなみに傾きながく夕燒けにけり

○蹊深き山の刈田に登校前の兒ら集りて落穗を拾ふ

○部落あげて銃後に耐ふるなしぐさの一年へたれ倦み疲れなし

そのあと

○

籐椅子は廊にあれどもいつの日か、樂々とねて日を浴ふべき　御白

講談

振袖横町

須藤鐘一

（32）　萩原萬象齋

わな（七）

翌日の晝ハツの刻近くなる。

「待ち遠でござつた。」

屋敷の家を訪れたのは福田伴十郎。

「おや、いらつしやいま今日は御苦勞さまですねをう御支度をなさると以前だけ、御立派ですこと、ほつほつほ、お見返しましたよ。」

「ほつほつは、馬を牛に乘りかへますかな。」

おせいを相手に戲れ口を回旅順總攻撃（同叩いてゐる。

9月19日（明治二五）△第二三七）△南京大空襲敵機三十二機撃墜（昭和一二）日はまだ集つてゐませんから……。」

「然らば御免」

「お言葉まで立派ですこと」

やがて座敷に通つて、團藏と伴十郎がなにくれとなく相談をしてゐる。

程なく、五兵衛がやつて來る。

二挺辻駕籠は、淺草訪町五郎兵衛店平藏の浪宅へ——。

×　×　×

「御免下さいまし。」

「頼まう」

土間で二人の聲がした。

なんだか、それらしいな申し上げます。」

「うむ、たかと申すはその方なのか、——委細は、五兵衛より承はつたでもらうが——、就ては本日宿所見届けの爲に罷り越した。」

——平藏と申したな、其方父……仕宅致し居るか

と聽かされたので、おかの態度にも

「これは、おいでなさいま信賴したのがいとも、いし、私は、たかと申しますんざんに挨拶をがはしてゐお見知り置き下さいまして五兵衛ホツとしさらしいこの後ともよろしくお願ひ

五兵衛が傍でいろ〳〵しと申上げ乘ねまするのでござゐますが、宿所見届の爲すまし切つての應接に上り込んで話すだけあつて、どう見ても役人らしい

「一應會うてまゐる度い、取次を賴む……」

「はい、暫時お待ち下さいませ……」

おたかは次の間へ下つゝも取次を致すも何もない、唯二部屋の狹い家、玄關の話は手に取るやうに聞てゐる筈

「どうぞ、お上り下さいまし、まことにむさくるしい所でございますが……」

「左樣か、然らば御免——」

それもその筈……。

月曜論壇

縣議戰と選擧民

民主的政治の要諦に基き多數人を一團としてその中から若干の代表者を選出する仕組みが選擧である。而して選擧人は選擧を通じて議員を選び、議員によつて間接に政治に關與する處から選擧權、通常參政權と稱せらるゝ程參政權としての性質を用ひられて居る。學說としては天賦說、報償說、公務說の三つがあり公務說が安當とされて居るが其らの當否は姑らく措き、少くともこの事が直にお互の政治に關與する前提をなすものであるから以上、所謂貴重な一票を行使するに際つては候補者の識見經綸その他總有を角度から之を觀察して飽く迄吾人の代表たるに間然する處無き資格條件を具備した人物であらねばならぬ事云ふ迄もない。蓋し去る十五日橋本知事の告諭中惟フニ大日本帝國憲法御制定ニ次デ地方自治ノ制ヲ樹テ地方議會議員公ノ途ヲ開カセ給ヒシハ一ニ眞ノ選良ヲ得テ地方ノ興隆ト民共同ノ福祉啓發ノ爲和衷協同愛鄕ノ精神ヲ顯注シ鄕土發展ノ實ヲ收メシメ以テ國本ヲ鞏固ナル安キニ置キ給ハントスル叡慮ト拜察シ奉ルとあり所以であり、被治者が同時に治者となる自治體の選擧に當面する良二千石の戒告として眞に首肯するに充分なるものがある「今や支那事變も第三年を迎へ東亞新秩序の下に長期建設の段階に入り、帝國不動の國是は今次歐洲大戰勃發するも渝ることなく益々銃後諸設備費三萬二千五百圓、調辨費一萬六百餘圓で現在の建物は全部取拂つて整理自慢の木造平家の理想的放擲せしめ與亞産業に從はしめん事を一日も早かれと祈るばかりです。

留守中は何時も皆樣に御世話になりまして厚く御禮申上げます。

責務愈よ大

入山元從業員　齊藤文七君

出征以來既に一ケ年に垂今祕益々軍人としての本分引分け、二十四日の准決勝大會を行ひ、宣言決議文をもいよ〳〵本格的な勝つて參りました。

陣中を新にして聽く

……(466)……

古鍛冶町出身　澄川一郎君(通信)

拜啓、酷暑とお聽も下さいます樣お傳達も此の喜びを共にし公園に於て種々の催しがあり、この意義ある記念日を終り日に充分なるものがある「今や支那事變も第三年を迎へ東亞新秩序の下に長期建設の段階に入り、帝國不動の國是は今次歐洲大戰勃發するも渝ることなく益々銃後諸設備費三萬二千五百圓、調辨費一萬六百餘圓で現在の建物は全部取拂つて整理自慢の木造平家の理想的放擲せしめ與亞産業に從はしめん事を一日も早かれと祈るばかりです。

留守中は何時も皆樣に御世話になりまして厚く御禮申上げます。

磐陽野球大會

地方將兵の慰問を兼ね

磐陽野球大會は十七日學行

磐陽野球大會は十七日學行

思ひ出を新にして

事變滿二年を記念

古鍛冶町出身　澄川一郎君(通信)

拜啓、酷暑とお聽も下さいます樣お傳達も此の喜びを共にし公園に於て種々の催しがあり、この意義ある記念日を終り日に充分なるものがある「今や支那事變も第三年を迎へ東亞新秩序の下に長期建設の段階に入り、帝國不動の國是は今次歐洲大戰勃發するも渝ることなく益々銃後諸設備費三萬二千五百圓、調辨費一萬六百餘圓で現在の建物は全部取拂つて整理自慢の木造平家の理想的放擲せしめ與亞産業に從はしめん事を一日も早かれと祈るばかりです。

留守中は何時も皆樣に御世話になりまして厚く御禮申上げます。

責務愈よ大

入山元從業員　齊藤文七君

出征以來既に一ケ年に垂今祕益々軍人としての本分引分け、二十四日の准決勝大會を行ひ、宣言決議文をもいよ〳〵本格的な勝つて參りました。

磐陽野球大會

磐陽野球大會は十七日學行

新人鶴見代議士

時代の脚光を浴びて極めて多角的に輝かしい存在を見せてゐる代議士鶴見祐輔氏（岩手縣第二區選出）が野崎市部候補應援の爲增上に新知識を傾くる旨既報の如くであるが愈よ來る二十一日夜市公會堂に於ける同派演說會に於て七時から得意の快辯を以て全聽衆に見ゆることになつた。何せ今選擧を通じての大ものとして入場多數を豫想されてゐる

野崎派應援に快辯

宿命に溫い新居

總工費約十五萬圓で

豐間回春園改築計畫

豐間村縣立回春園は最近庶もに東北の代表的結核療養所として打拔しく設備にも遺憾の點打拔しく設備にも遺憾の點所ならしむるもので各方面からの寄附金が多數あるので縣では愈よこれを改築することゝなり目下縣營繕課で設計を急ぐとともに種々準備中だが改築案の内容は大体總工費十五萬圓のうち建築費十萬二千八百圓、設備費三萬二千五百圓、調辨費一萬六百餘圓で現在の建物は全部取拂つて整理自慢の木造平家の理想的放擲せしめ與亞産業に從はしめん事を一日も早かれと祈るばかりです。

留守中は何時も皆樣に御世話になりまして厚く御禮申上げます。

草鞋履に日の丸辨當

赤津派言論戰線展開

豐間回春園改築計畫

豐間村縣立回春園は最近庶もに東北の代表的結核療養所として打拔しく設備にも遺憾の點打拔しく設備にも遺憾の點所ならしむるもので各方面からの寄附金が多數あるので縣では愈よこれを改築することゝなり目下縣營繕課で設計を急ぐとともに種々準備中だが改築案の内容は大体總工費十五萬圓のうち建築費十萬二千八百圓、設備費三萬二千五百圓、調辨費一萬六百餘圓で現在の建物は全部取拂つて整理自慢の木造平家の理想的放擲せしめ與亞産業に從はしめん事を一日も早かれと祈るばかりです。

留守中は何時も皆樣に御世話になりまして厚く御禮申上げます。

齊藤少將熱辯

きのふ國防婦人會平支部總會は昨十七日午前九時から市公會堂に開き出席會員千二百餘名、第三分會長を辭した寄沼勢以子氏に感謝狀を贈り後任に正木苞子氏を推す、方關係は市內吉田武千代君

國防婦人會平支部總會

きのふ國防婦人會平支部總會は昨十七日午前九時から市公會堂に開き出席會員千二百餘名、第三分會長を辭した寄沼勢以子氏に感謝狀を贈り後任に正木苞子氏を推す、

一寸の間に幼兒の姿見えず

部落總掛りで大騷ぎ

第二の妙子ちやん事件か？にクサのあとがあり右瞼と赤井村高萩字前河原一ノ水左額上に小ハレ物の手術し車業草野茂さん長女ユリ子ちやん（生後滿一年九ケ月）は十六日午後二時半頃お母ちやんのイチさんが裁縫すら傍で遊んでゐたがお母ちやんがほんの五分間位戶外へ出た間にどつかへ行つてしまつた、直き前に小玉川が流れてゐるので或はヨチ〳〵歩いてこゝへ落ちたんではないかと部落民や警防團員二百名が出て捜したが昨夜迄には判らなかつた、誘拐？溺死？妙子ちやん事件の直後だけに村人の關心は深い、ユリ子ちやんは當時寄色地に白色笹模樣の木綿單衣を着て丸顏色白、オカツパの可愛い子、鼻の上

第二の妙子ちやん事件か？にクサのあとがあり右瞼と赤井村高萩字前河原一ノ水左額上に小ハレ物の手術し車業草野茂さん長女ユリ子ちやん（生後滿一年九ケ月）は十六日午後二時半頃お母ちやんのイチさんが裁縫すら傍で遊んでゐたがお母ちやんがほんの五分間位戶外へ出た間にどつかへ行つてしまつた、直き前に小玉川が流れてゐるので或はヨチ〳〵歩いてこゝへ落ちたんではないかと部落民や警防團員二百名が出て捜したが昨夜迄には判らなかつた、誘拐？溺死？妙子ちやん事件の直後だけに村人の關心は深い、ユリ子ちやんは當時寄色地に白色笹模樣の木綿單衣を着て丸顏色白、オカツパの可愛い子、鼻の上

印紙稅檢查日割

平稅務署では左記日割で印紙稅定期集合檢查執行（カッコ內檢查場所）

△九月十九—二十一日（平稅務署）平、飯野、草野、神谷、高久と好間、

赤井の一部）△二十二日（小名濱役場）小名濱、鹿島、玉川、泉△同日（江名町役場）江名、豐間△二十三日（內鄕村役場）內鄕△二十二日（植田町役場）植田、錦、山田、上遠野△同日（勿來町役場）勿來、川部△二十三日（湯本町役場）湯本、磐崎△二十二日（四倉町役場）四倉、大浦、大野△二十三日（上、下小川役場）上下小川、赤井△同日（好間村役場）好間、永戶

幼兒の姿見えず

部落總掛りで大騷ぎ

一寸の間に

印紙稅檢查日割

平稅務署では左記日割で印紙稅定期集合檢查執行（カッコ內檢查場所）

△九月十九—二十一日（平稅務署）平、飯野、草野、神谷、高久と好間、

赤井の一部）△二十二日（小名濱役場）小名濱、鹿島、玉川、泉△同日（江名町役場）江名、豐間△二十三日（內鄕村役場）內鄕△二十二日（植田町役場）植田、錦、山田、上遠野△同日（勿來町役場）勿來、川部△二十三日（湯本町役場）湯本、磐崎△二十二日（四倉町役場）四倉、大浦、大野△二十三日（上、下小川役場）上下小川、赤井△同日（好間村役場）好間、永戶

草鞋履に日の丸辨當

赤津派言論戰線展開

豐間回春園改築計畫

豐間村縣立回春園は最近庶もに東北の代表的結核療養所として打拔しく設備にも遺憾の點打拔しく設備にも遺憾の點所ならしむるもので各方面からの寄附金が多數あるので縣では愈よこれを改築することゝなり目下縣營繕課で設計を急ぐとともに種々準備中だが改築案の内容は大体總工費十五萬圓のうち建築費十萬二千八百圓、設備費三萬二千五百圓、調辨費一萬六百餘圓で現在の建物は全部取拂つて整理自慢の木造平家の理想的放擲せしめ與亞産業に從はしめん事を一日も早かれと祈るばかりです。

留守中は何時も皆樣に御世話になりまして厚く御禮申上げます。

責務愈よ大

入山元從業員　齊藤文七君

出征以來既に一ケ年に垂今祕益々軍人としての本分引分け、二十四日の准決勝大會を行ひ、宣言決議文をもいよ〳〵本格的な勝つて參りました。

磐陽野球大會

磐陽野球大會は十七日學行

蒼白い興奮は續く

愈よ今夜十二時屆出で期限滿了

市、郡下既定戰士緊張

あます處愈よ一週間、言論文書とも戰ひは今や第二期戰の終末に入り苟も選擧に關係をもつ程のものは何れも全神經を末梢的に刎ね上らせて蒼白い興奮に慄えて居る、立候補も退讓も今十八日午後十二時を以て其の最終であるが、全候補者を通じて異動無く今深更十二時を期して別項の市、郡部十二名と決定する筈である。亂立した候補中、力の相違から最終日に於ける退讓などは往々ある事であり、その場合幾分接戰を緩和されるが、今回の平市、郡には全然これが無く、悲愴にも宿命づけられた市部の一騎討ちと、新銳古剛郡部十名の混戰は終り迄一貫して行はるべく不可避的に確定した

縣會議員候補者一覽表

候補者	職業	事務所
野崎滿藏（五九）	自動車業	市內田町
關內正一（四五）	油業	市內三丁目
遠沼龍輔（四八）	新聞業	市內田町
齊藤晃（三八）	味噌醬油	湯本町
木村守江（四〇）	醫師	四倉町
萩原義雄（五二）	歯科醫	市內銀冶町
草野三郎（七〇）	雜貨商	市內才槌小路
大井川正己（三七）	酒造業	湯本町
小野晉平（五五）	製材業	小名濱町
蛭田虎次郎（五九）	味噌醬油	植田町
坂本龜太郎（五八）	味噌醬油	植田町
赤津庄兵衛（四五）	山野邊義政	山田井笑次郎
	多田	波邊
	高木秀雄	門馬倉次郎
	吉田寅之助	鈴木盛之助
	平子玉男	水野政次郎
	川崎善彌	成瀨巴三
	山崎登	

地方代表選手決る

昨日福島グラウンドで

神宮競技豫選

△棒高跳1森山東吾（磐城炭礦）三米八〇

△百米決勝1根本芳男（入山炭礦）一一秒二2酒井道夫（石城青年）二五秒一

△一萬米6栗城敏男（磐城帝）

女子の部

△八十米障碍1小泉富美子（磐女）一四秒九

△砲丸投1大須賀つぬ（磐女）八米二

互樂會休會

地方將兵の慰問を兼ね

互樂會休會

地方代表選手決る

昨日福島グラウンドで

神宮競技豫選

△棒高跳1森山東吾（磐城炭礦）三米八〇

△百米決勝1根本芳男（入山炭礦）一一秒二2酒井道夫（石城青年）二五秒一

△一萬米6栗城敏男（磐城帝）

女子の部

△八十米障碍1小泉富美子（磐女）一四秒九

△砲丸投1大須賀つぬ（磐女）八米二

互樂會休會

地方將兵の慰問を兼ね

互樂會休會

草鞋履に日の丸辨當

赤津派言論戰線展開

豐間回春園改築計畫

豐間村縣立回春園は最近庶もに東北の代表的結核療養所として打拔しく設備にも遺憾の點打拔しく設備にも遺憾の點所ならしむるもので各方面からの寄附金が多數あるので縣では愈よこれを改築することゝなり目下縣營繕課で設計を急ぐとともに種々準備中だが改築案の内容は大体總工費十五萬圓のうち建築費十萬二千八百圓、設備費三萬二千五百圓、調辨費一萬六百餘圓で現在の建物は全部取拂つて整理自慢の木造平家の理想的放擲せしめ與亞産業に從はしめん事を一日も早かれと祈るばかりです。

留守中は何時も皆樣に御世話になりまして厚く御禮申上げます。

責務愈よ大

入山元從業員　齊藤文七君

出征以來既に一ケ年に垂今祕益々軍人としての本分引分け、二十四日の准決勝大會を行ひ、宣言決議文をもいよ〳〵本格的な勝つて參りました。

磐陽野球大會

磐陽野球大會は十七日學行

新人鶴見代議士

時代の脚光を浴びて極めて多角的に輝かしい存在を見せてゐる代議士鶴見祐輔氏（岩手縣第二區選出）が野崎市部候補應援の爲增上に新知識を傾くる旨既報の如くであるが愈よ來る二十一日夜市公會堂に於ける同派演說會に於て七時から得意の快辯を以て全聽衆に見ゆることになつた。何せ今選擧を通じての大ものとして入場多數を豫想されてゐる

野崎派應援に快辯

宿命に溫い新居

總工費約十五萬圓で

豐間回春園改築計畫

豐間村縣立回春園は最近庶もに東北の代表的結核療養所として打拔しく設備にも遺憾の點打拔しく設備にも遺憾の點所ならしむるもので各方面からの寄附金が多數あるので縣では愈よこれを改築することゝなり目下縣營繕課で設計を急ぐとともに種々準備中だが改築案の内容は大体總工費十五萬圓のうち建築費十萬二千八百圓、設備費三萬二千五百圓、調辨費一萬六百餘圓で現在の建物は全部取拂つて整理自慢の木造平家の理想的放擲せしめ與亞産業に從はしめん事を一日も早かれと祈るばかりです。

留守中は何時も皆樣に御世話になりまして厚く御禮申上げます。

責務愈よ大

入山元從業員　齊藤文七君

出征以來既に一ケ年に垂今祕益々軍人としての本分引分け、二十四日の准決勝大會を行ひ、宣言決議文をもいよ〳〵本格的な勝つて參りました。

磐陽野球大會

磐陽野球大會は十七日學行

思ひ出を新にして

事變滿二年を記念

古鍛冶町出身　澄川一郎君(通信)

拜啓、酷暑とお聽も下さいます樣お傳達も此の喜びを共にし公園に於て種々の催しがあり、この意義ある記念日を終り日に充分なるものがある「今や支那事變も第三年を迎へ東亞新秩序の下に長期建設の段階に入り、帝國不動の國是は今次歐洲大戰勃發するも渝ることなく益々銃後諸設備費三萬二千五百圓、調辨費一萬六百餘圓で現在の建物は全部取拂つて整理自慢の木造平家の理想的放擲せしめ與亞産業に從はしめん事を一日も早かれと祈るばかりです。

留守中は何時も皆樣に御世話になりまして厚く御禮申上げます。

責務愈よ大

入山元從業員　齊藤文七君

出征以來既に一ケ年に垂今祕益々軍人としての本分引分け、二十四日の准決勝大會を行ひ、宣言決議文をもいよ〳〵本格的な勝つて參りました。

磐陽野球大會

磐陽野球大會は十七日學行

昭和拾四年後期用小學生參考書

優等生大全科
模範大全科學習書
優良大全科
各科の研究
受驗生大全科
驗々堂大全科
書方學習書
木山のプリント
田中朱榮堂の
十五錢參考書
小國民年鑑
知識の寶庫
日用辭典
各種受驗參考書

その他各科別の參考書類豊富に取揃へました

開業廣告

▼物理療法　內科　小兒科　專門

辯護士　萩原義雄

市川市會議長　高原正高

代議士　鶴見祐輔

診療時間　平市五丁目二

自午前八時　至午後六時

額賀醫院

（元平松宅）

御知らせ

和洋結髮、パーマネント

御婚禮用　貸衣裳　貸かつら

御用命の程を御願ひ致します

平市新田町

手塚美容院

夜間診療

胃腸病專門

內科　胃腸病科　性病科　花柳病科　皮膚科

（見習看護婦募集）

松村醫院

胃腸病　性病科

（平市南町電一〇七番）

地方代表選手決る

昨日福島グラウンドで

神宮競技豫選

△棒高跳1森山東吾（磐城炭礦）三米八〇

△百米決勝1根本芳男（入山炭礦）一一秒二2酒井道夫（石城青年）二五秒一

△一萬米6栗城敏男（磐城帝）

女子の部

△八十米障碍1小泉富美子（磐女）一四秒九

△砲丸投1大須賀つぬ（磐女）八米二

互樂會休會

地方將兵の慰問を兼ね

互樂會休會

入山——古河揚土の勝者

少年溺死　湯本町八仙三八小學校四年生石井操(一〇)君は十五日午後五時頃行方不明となつたが十六日入山プールで溺死体となつて發見された

平市慶弔錄

○婚姻　月見町一三菱谷儀之助氏(三八)下小川村大字上平字中島四一松本チヨ子さん(三六)

▲死亡　杉平三一かくさんの夫赤塚勇吉氏(五六)、十五丁目二二彦太郎さん父岡田才四郎氏(四八)

十九日

【今名濱鎭守祭禮】

擬寶珠　八月九日　火曜　辛酉

巳ノ刻　友引　朔

七ツ半　十月　十九日

尾宿

【潮汐】前六、四五　干潮前　〇、〇五

後五、二五　干潮後一、三〇

▲一白　吉凶交々至り捕捉しがたき運氣自重が第一▲二黑　人のもつれ事には成るべく口を入れぬ樣すべし▲三碧　一時不安の氣に發はるゝとも敗には屈らす▲四綠　外に出ては口をつゝしみ世話事は目上にゆづるべし▲五黃　外に飛び廻らずとも內にありて十分發展す▲六白　一家內輕となりて働け

昭和拾四年後期用小學生參考書

優等生大全科
模範大全科學習書
優良大全科
各科の研究
受驗生大全科
驗々堂大全科
書方學習書
木山のプリント
田中朱榮堂の
十五錢參考書
小國民年鑑
知識の寶庫
日用辭典
各種受驗參考書

その他各科別の參考書類豊富に取揃へました

開業廣告

▼物理療法　內科　小兒科　專門

辯護士　萩原義雄

市川市會議長　高原正高

代議士　鶴見祐輔

診療時間　平市五丁目二

自午前八時　至午後六時

額賀醫院

（元平松宅）

御知らせ

和洋結髮、パーマネント

御婚禮用　貸衣裳　貸かつら

御用命の程を御願ひ致します

平市新田町

手塚美容院

夜間診療

胃腸病專門

內科　胃腸病科　性病科　花柳病科　皮膚科

（見習看護婦募集）

松村醫院

胃腸病　性病科

（平市南町電一〇七番）

縣會議員候補者一覽表

候補者	職業	事務所
野崎滿藏（五九）	自動車業	市內田町
關內正一（四五）	油業	市內三丁目
遠沼龍輔（四八）	新聞業	市內田町
齊藤晃（三八）	味噌醬油	湯本町
木村守江（四〇）	醫師	四倉町
萩原義雄（五二）	歯科醫	市內銀冶町
草野三郎（七〇）	雜貨商	市內才槌小路
大井川正己（三七）	酒造業	湯本町
小野晉平（五五）	製材業	小名濱町
蛭田虎次郎（五九）	味噌醬油	植田町
坂本龜太郎（五八）	味噌醬油	植田町
赤津庄兵衛（四五）	山野邊義政	山田井笑次郎
	多田	波邊
	高木秀雄	門馬倉次郎
	吉田寅之助	鈴木盛之助
	平子玉男	水野政次郎
	川崎善彌	成瀨巴三
	山崎登	

縣會議員候補者一覽表

候補者	職業	事務所
野崎滿藏（五九）	自動車業	市內田町
關內正一（四五）	油業	市內三丁目
遠沼龍輔（四八）	新聞業	市內田町
齊藤晃（三八）	味噌醬油	湯本町
木村守江（四〇）	醫師	四倉町
萩原義雄（五二）	歯科醫	市內銀冶町
草野三郎（七〇）	雜貨商	市內才槌小路
大井川正己（三七）	酒造業	湯本町
小野晉平（五五）	製材業	小名濱町
蛭田虎次郎（五九）	味噌醬油	植田町
坂本龜太郎（五八）	味噌醬油	植田町
赤津庄兵衛（四五）	山野邊義政	山田井笑次郎
	多田	波邊
	高木秀雄	門馬倉次郎
	吉田寅之助	鈴木盛之助
	平子玉男	水野政次郎
	川崎善彌	成瀨巴三
	山崎登	

縣會議員候補者一覽表

候補者	職業	事務所
野崎滿藏（五九）	自動車業	市內田町
關內正一（四五）	油業	市內三丁目
遠沼龍輔（四八）	新聞業	市內田町
齊藤晃（三八）	味噌醬油	湯本町
木村守江（四〇）	醫師	四倉町
萩原義雄（五二）	歯科醫	市內銀冶町
草野三郎（七〇）	雜貨商	市內才槌小路
大井川正己（三七）	酒造業	湯本町
小野晉平（五五）	製材業	小名濱町
蛭田虎次郎（五九）	味噌醬油	植田町
坂本龜太郎（五八）	味噌醬油	植田町
赤津庄兵衛（四五）	山野邊義政	山田井笑次郎
	多田	波邊
	高木秀雄	門馬倉次郎
	吉田寅之助	鈴木盛之助
	平子玉男	水野政次郎
	川崎善彌	成瀨巴三
	山崎登	

地方代表選手決る

昨日福島グラウンドで

神宮競技豫選

△棒高跳1森山東吾（磐城炭礦）三米八〇

△百米決勝1根本芳男（入山炭礦）一一秒二2酒井道夫（石城青年）二五秒一

△一萬米6栗城敏男（磐城帝）

女子の部

△八十米障碍1小泉富美子（磐女）一四秒九

△砲丸投1大須賀つぬ（磐女）八米二

互樂會休會

地方將兵の慰問を兼ね

互樂會休會

縣會議員候補者

立憲民政黨公認
縣會議員候補者

野崎滿藏推薦演說會

辯護士　萩原義雄
市會議員　荒川淺次郎
本部特派員　平田鶯堂
代議士　山田清藏
候補者　野崎滿藏

日時　九月二十一日午後六時
場所　平第三小學校講堂

責任者　平市字田町四七　山野邊義政

立憲民政黨公認
縣會議員候補者

野崎滿藏推薦演說會

辯護士　萩原義雄
市會議員　荒川淺次郎
本部特派員　平田鶯堂
代議士　山田清藏
候補者　野崎滿藏

日時　九月二十一日午後六時
場所　平市公會堂

鶴見先生ハ正午後七時登壇

立憲民政黨公認
縣會議員候補者

野崎滿藏推薦演說會

辯護士　萩原義雄
市會議員　荒川淺次郎
本部特派員　平田鶯堂
代議士　山田清藏
候補者　野崎滿藏

日時　九月二十一日午後六時
場所　平第三小學校講堂

責任者　平市字田町四七　山野邊義政

立憲民政黨公認
縣會議員候補者

野崎滿藏推薦演說會

辯護士　萩原義雄
市會議員　荒川淺次郎
本部特派員　平田鶯堂
代議士　山田清藏
候補者　野崎滿藏

日時　九月二十一日午後六時
場所　平市公會堂

鶴見先生ハ正午後七時登壇

責任者　平市仲間町四七　佐藤幸太郎